



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日

上場取引所 東名札

上場会社名 株式会社スズケン

コード番号 9987 URL <http://www.suzuken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 裕史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 小坂井 順生

TEL 052-961-2331

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	509,355	10.4	863	—	5,284	59.8	3,109	63.0
27年3月期第1四半期	461,220	△4.0	△1,056	—	3,307	△41.7	1,907	△44.7

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 4,054百万円 (△4.3%) 27年3月期第1四半期 4,235百万円 (4.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	31.36	—
27年3月期第1四半期	19.24	—

(注)当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,085,820	369,346	34.0
27年3月期	1,086,685	367,798	33.8

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 368,918百万円 27年3月期 367,384百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	27.00	—	27.00	54.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行いました。平成27年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	980,500	4.4	400	△85.2	8,300	△23.0	5,000	△25.3	50.43
通期	2,043,000	3.7	12,400	△6.3	28,700	△4.6	17,700	△6.4	178.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	103,344,083 株	27年3月期	103,344,083 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	4,207,606 株	27年3月期	4,188,306 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	99,138,683 株	27年3月期1Q	99,156,999 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策の効果もあり、緩やかな景気回復基調が続いているなか、雇用環境の改善傾向を背景に個人消費の伸びは持ち直しの兆しがみられました。

医療用医薬品市場は、後発医薬品使用促進の影響があったものの、平成27年3月期に消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動があったことに加え、高齢化の進展に伴う生活習慣病関連薬剤および抗悪性腫瘍剤等の市場拡大や新薬等の寄与により、伸長したものと推測しております。

そのようななか、お得意さまニーズの多様化・高度化への対応など、医薬品卸を取り巻く経営環境は引続き厳しい状況にあります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は5,093億55百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益は8億63百万円（前年同期は10億56百万円の営業損失）、経常利益は52億84百万円（前年同期比59.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億9百万円（前年同期比63.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円未満切捨て）

セグメントの名称		平成27年3月期 第1四半期累計期間	平成28年3月期 第1四半期累計期間	増減率(%)
医薬品卸売事業	売上高	439,017	485,729	10.6
	営業損失(△)	△2,176	△893	—
医薬品製造事業	売上高	13,811	16,521	19.6
	営業利益	754	1,061	40.7
保険薬局事業	売上高	21,420	24,322	13.5
	営業利益	292	667	128.2
医療関連サービス等事業	売上高	7,741	9,100	17.5
	営業損失(△)	△224	△37	—

(注) セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(医薬品卸売事業)

「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会」による「緊急提言」を受け、引続き流通改善に取り組んでおります。具体的には、お得意さまごとに個々の医療用医薬品の価値に見合った粘り強い価格交渉に努めております。また、多様化・高度化するお得意さまニーズに対応し、顧客信頼度ナンバーワンを実現するため、お得意さまに提供するサービスの最適化と強い物流機能の確立に取り組んでおります。

売上高は、平成27年3月期に消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動があったことに加え、個々のお得意さまのニーズにお応えする活動に継続して取り組んだことにより、前年同期比10.6%の増収となりました。

営業利益は、増収効果や適正な利益の確保に向けた活動を徹底したものの営業損失となりました。

これらの結果、売上高は4,857億29百万円（前年同期比10.6%増）、営業損失は8億93百万円（前年同期は21億76百万円の営業損失）となりました。

なお、現時点における販売価格の未決定先につきましては、合理的見積価格としております。今後は、価格決定に向けての厳しい価格交渉が予想されますが、引続き適正利益の確保に向けた活動を徹底してまいります。

(医薬品製造事業)

売上高は、平成27年3月期に消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動があったことに加え、糖尿病関連商品を中心に販売促進に努めたことにより増収となりました。営業利益は、増収効果により増益となりました。

これらの結果、売上高は165億21百万円（前年同期比19.6%増）、営業利益は10億61百万円（前年同期比40.7%増）となりました。

(保険薬局事業)

売上高は、M&Aや新規出店により増収となりました。営業利益は、M&Aなど店舗展開により販売費及び一般管理費が増加したものの増収効果により増益となりました。

これらの結果、売上高は243億22百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益は6億67百万円（前年同期比128.2%増）となりました。

(医療関連サービス等事業)

主に、医薬品メーカーを対象とした物流受託の企画・管理、および希少疾病薬領域を中心とした医薬品の流通コーディネートをおこなう㈱エス・ディ・コラボにおいて、希少疾病薬の流通受託等により売上高は増加いたしました。

また、介護事業において、新規に開設した施設を中心に順調に利用者が増加いたしました。一方、施設の新規開設や介護従事者の確保により、売上原価が増加いたしました。

これらの結果、売上高は91億0百万円（前年同期比17.5%増）、営業損失は37百万円（前年同期は2億24百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億64百万円減少し1兆858億20百万円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末に比べ5億21百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が92億46百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が53億15百万円、有価証券が60億4百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ13億86百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が5億44百万円増加したものの、無形固定資産が7億36百万円、投資その他の資産が11億93百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ24億12百万円減少し7,164億74百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が90億91百万円増加したものの、未払法人税等が52億24百万円、賞与引当金が38億96百万円、流動負債のその他が22億88百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億47百万円増加し3,693億46百万円となりました。これは主に剰余金の配当を24億33百万円支払ったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を31億9百万円計上したことおよびその他有価証券評価差額金が6億17百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月11日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 (会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	101,504	92,258
受取手形及び売掛金	486,573	491,889
有価証券	28,991	34,996
商品及び製品	140,549	140,106
仕掛品	2,897	2,923
原材料及び貯蔵品	2,498	2,693
その他	33,430	31,972
貸倒引当金	△2,163	△2,037
流動資産合計	794,281	794,802
固定資産		
有形固定資産	114,280	114,825
無形固定資産		
のれん	3,107	3,052
その他	19,381	18,699
無形固定資産合計	22,488	21,751
投資その他の資産		
投資有価証券	129,246	127,631
その他	27,031	27,404
貸倒引当金	△643	△595
投資その他の資産合計	155,634	154,440
固定資産合計	292,404	291,017
資産合計	1,086,685	1,085,820

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	649,686	658,777
短期借入金	995	924
未払法人税等	6,489	1,264
返品調整引当金	499	433
賞与引当金	8,318	4,421
その他	17,545	15,257
流動負債合計	683,535	681,079
固定負債		
長期借入金	1,124	1,109
役員退職慰労引当金	670	592
退職給付に係る負債	3,233	3,269
その他	30,324	30,423
固定負債合計	35,351	35,395
負債合計	718,886	716,474
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,546	13,546
資本剰余金	38,897	38,897
利益剰余金	288,772	289,447
自己株式	△12,077	△12,150
株主資本合計	329,138	329,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,174	43,791
土地再評価差額金	△5,869	△5,845
為替換算調整勘定	730	742
退職給付に係る調整累計額	209	489
その他の包括利益累計額合計	38,245	39,177
非支配株主持分	414	427
純資産合計	367,798	369,346
負債純資産合計	1,086,685	1,085,820



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	461,220	509,355
売上原価	421,610	466,659
売上総利益	39,609	42,696
返品調整引当金戻入額	493	499
返品調整引当金繰入額	405	433
差引売上総利益	39,697	42,762
販売費及び一般管理費	40,753	41,899
営業利益又は営業損失(△)	△1,056	863
営業外収益		
受取利息	201	170
受取配当金	679	603
仕入割引	1,807	1,996
受入情報収入	1,263	1,349
その他	532	427
営業外収益合計	4,485	4,547
営業外費用		
支払利息	5	12
不動産賃貸費用	48	51
その他	66	62
営業外費用合計	121	126
経常利益	3,307	5,284
特別利益		
固定資産売却益	39	10
投資有価証券売却益	-	36
負ののれん発生益	27	-
その他	9	9
特別利益合計	76	56
特別損失		
固定資産除売却損	100	35
その他	4	7
特別損失合計	104	42
税金等調整前四半期純利益	3,278	5,298
法人税等	1,360	2,175
四半期純利益	1,918	3,122
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,907	3,109

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	1,918	3,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,249	617
土地再評価差額金	-	23
為替換算調整勘定	△13	△0
退職給付に係る調整額	198	279
持分法適用会社に対する持分相当額	△117	12
その他の包括利益合計	2,317	931
四半期包括利益	4,235	4,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,224	4,040
非支配株主に係る四半期包括利益	10	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	429,613	4,591	21,419	5,596	461,220
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,404	9,219	1	2,145	20,771
計	439,017	13,811	21,420	7,741	481,991
セグメント利益又は損失(△)	△2,176	754	292	△224	△1,354

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,354
セグメント間取引消去	298
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,056

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	473,728	5,309	24,321	5,997	509,355
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,001	11,212	1	3,103	26,318
計	485,729	16,521	24,322	9,100	535,674
セグメント利益又は損失(△)	△893	1,061	667	△37	797

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	797
セグメント間取引消去	65
四半期連結損益計算書の営業利益	863

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。